

出題 蜚雪ゼミナール

長良北校・築樋拓真



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

## 問題【国語】

次の言葉を「やさしい日本語」に直してみましょう。

暴風警報が発令中です。

## 豆知識 雑学コラム

### 「やさしい日本語」とは？

もし、町中で困っている外国の方を見かけたら、みなさんだったら、どういふふうに声をかけますか？ 英語が話せれば、英語で話しかけようとするかもしれません。しかし、実際には、外国の方だからといって、英語が話せるとは限りません。日本にいる外国の方であれば、英語より日本語の方ができる可能性が高いです。とは

いえ、外国の方が日本語に精通しているとは限りません。「やさしい日本語」とは日本語が苦手な外国の方にも伝わるように配慮された日本語のことです。今日は「やさしい日本語」について考えてみましょう。

今回の問題では「暴風警報」、「発令中」という普段使い慣れない漢字の難しい言葉が出てきます。外国の方にとって難しく感じる言葉として「音読みする漢字の熟語」があり「暴風警報」も「発令中」もその例に当てはまります。

風は「強い風」、「警報」を「気を付ける」と直し、「風が強くなっています。気を付けてください。」と言え、伝えたいことが伝わる。「やさしい日本語」になります。さて、岐阜県のなかでも多くの外国の方がたくさん暮らす地域もあり、外国の方と交流する機会も以前より多くなってきています。身近にいる外国の方が困っているとき、英語で話しかけるのではなく、「やさしい日本語」で話かけるようにしてはどうでしょうか。

## 【解答】

やさしい日本語  
強い風、警報を付けてください。

「やさしい日本語」という考え方は、1995年の阪神・淡路大震災をきっかけに生まれました。

こうした場合、伝えたいことは何かを考え、より身近な言葉に置き換えてあげることが大切です。「暴

震災という大変な時に母国語で情報を得られない外国出身の被災者のためにどういふふうに正しい情報を伝えるのかを考え、「やさしい日本語」は生まれました。こうした経緯から災害や緊急時の対応の場面でよく使われる考え方となっています。

風は「強い風」、「警報」を「気を付ける」と直し、「風が強くなっています。気を付けてください。」と言え、伝えたいことが伝わる。「やさしい日本語」になります。さて、岐阜県のなかでも多くの外国の方がたくさん暮らす地域もあり、外国の方と交流する機会も以前より多くなってきています。身近にいる外国の方が困っているとき、英語で話しかけるのではなく、「やさしい日本語」で話かけるようにしてはどうでしょうか。